

TRGA2502 ドラム缶用移動リフト 取扱説明書

この度は、TRGA2502 ドラム缶用移動リフトをお買い上げいただきありがとうございます。
必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、本製品を安全に使用してください。
また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。
重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、200L ドラム缶を移動する工具です。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 本製品はドラム缶を爪で支える構造です。爪での支えが不安定な場合、またすぐ外れてしまう場合は、本製品を使用しないでください。
- ・ ドラム缶を移動中は、ドラム缶の下に手や体の一部を入れないでください。
- ・ ドラム缶を移動する場合は必ず周囲の安全を確認してください。
- ・ ドラム缶を移動中に本製品が万が一倒れた時は、支えず逃げてください。
- ・ 平坦でない床上で本製品を放置しないでください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
子供の手の届く場所に保管しないでください。

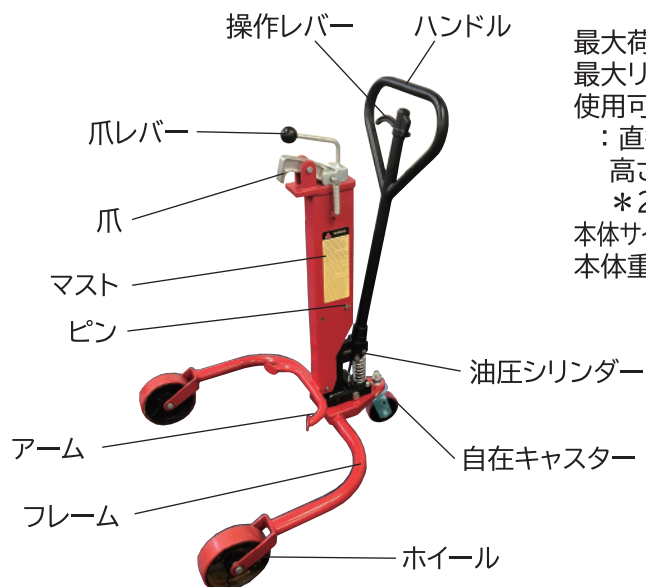


注意

下記内容をお守りください。
負傷や物的損害の可能性あります。

- ・ 本製品はドラム缶の形状に合わせて設計されています。床に起伏や段差があったり、ドラム缶と床の間に物があると本製品を使用できない場合があります。
- ・ 移動は平坦かつ強固な床上のみで使用してください。床の状態が悪いと転倒の恐れがあります。
- ・ ドラム缶を持ち上げる場合、爪の状態を確認してください。確実にロックし、外れる恐れがないことを確認してください。
- ・ 作業前に本製品に異常がないか点検をしてください。異常のある場合は使用せずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

■ 各部名称



■ 仕様

最大荷重：250 kg
最大リフト量：280 mm
使用可能ドラム缶サイズ
：直径 約 600 mm
高さ 約 900 mm
*200Lドラム缶
本体サイズ：820 × 780 × 1250 mm
本体重量：40 kg

*注) 予告なくセット内容、デザイン等が変更になる場合があります。ご了承ください。

■ 組立

1. フレームに油圧シリンダー（+ ハンドル）をボルト 4 本で接続してください。（図 1）
2. マストのピンを取り外し、マストを油圧シリンダーの上側から挿入してください。（図 2）
3. マストのピンを元の位置に取り付けてください。

図 1

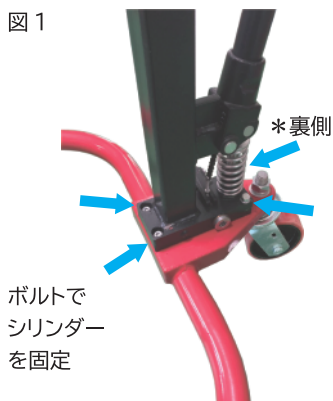


図 2



■ 使用方法

≪ 爪の操作について ≫

ドラム缶を挟む爪は、爪レバーが a の状態で開き b の状態で閉じます。
爪を開いた状態でドラム缶のフチに合わせてから、爪でドラム缶を挟みます。
マストが上がる（ドラム缶を吊り上げる）と、爪がドラム缶を挟んだ状態で
ロック（爪レバーが開かない）状態になります。

a : 爪が開いている状態



b : 爪が閉じている状態



*接続例



≪ ハンドルの操作レバーについて ≫

操作レバーを A の位置にして
ハンドルを漕ぐとマストが上がり、
ドラム缶を吊り上げます。

操作レバーを B の位置にすると
ハンドルがフリーになります。
この状態でドラム缶を移動します。

操作レバーを B の位置から握り
C の位置にするとマストが下がり、
ドラム缶を下ろします。

*強く握ると早く下がり、弱く握ると
遅く下がります。



≪ ドラム缶の移動方法 ≫

1. マストを最低位置にして、爪を開きます。
2. ドラム缶に本体をゆっくりと近づけて、ドラム缶の側面にアームを接触させてください。
3. ドラム缶のフチに爪を確実に挟み込んでください。
4. ハンドルを漕ぐとドラム缶が持ち上がります。
5. 最高位置まで持ち上げたら、移動が可能です。

*使用例（移動時）



■ メンテナンス

« 高さ調整について »

ドラム缶と爪の高さが合わない場合、自在キャスターの高さを調整することにより微調整することができます。自在キャスター上部のナットを外し、キャスターのボルト部を回すと高さを調整できます。調整後はナットを締めてください。

« 油圧部について »

- ・油圧シリンダー内にエアーが混入して正常に作動しなくなる場合があります。その場合はエアー抜き作業を行ってください。

エアー抜き作業

1. 本製品を以下の状態にしてください。
 - ・ドラム缶を接続していない
 - ・ジャッキ（マスト）が最低位置にある
 2. ハンドルの操作レバーを握った状態（前頁 C 位置）で、ハンドルを素早く 5 ～ 10 回ほどフルストロークで漕いでください。
 3. 上昇・下降操作を行い、スムーズに作動したらエアー抜きは完了です。
*改善しない場合は、2. の操作を再度行ってください。
- ・エアー抜きを行っても作動不良が改善しない場合やオイル漏れが著しい場合は、修理依頼をしてください。
 - ・シリンダー内のオイルを補充・交換する場合は、マストを取り外してオイルプラグより行ってください。 *推奨オイル ISO VG15 相当

« 日常点検について »

- ・使用前に必ず各部品を点検し、損傷・変形・オイル漏れ・作動不良・異音等の異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お買い上げの販売店に修理依頼をしてください。
- ・各可動部・摺動部に定期的に給油してください。
- ・汚れが付着した場合は、ウエス等でふき取ってください。
- ・高温高湿になる場所・日光下または水気のある場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。



株式会社レックス

〒501-0231 岐阜県瑞穂市野白新田55-1

#189-21023